



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林 一志 TEL 078-304-2516  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	17,399	△25.1	84	△93.3	86	△90.2	36	△95.0	9	△98.7	932	—
2020年3月期第1四半期	23,229	△2.2	1,267	△38.7	876	△60.5	737	△70.5	682	△72.7	△352	—

(注) コア営業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.20	—
2020年3月期第1四半期	14.89	—

(注) 前第1四半期に行われた企業結合に係る暫定的な会計処理が前第3四半期に確定しており、前第1四半期の連結経営成績については、取得原価の当初配分額見直し後の金額となっております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	110,288	64,131	63,877	57.9
2020年3月期	110,297	63,909	63,648	57.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	6.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有 (2021年3月期期末の配当予想額は現時点で未定です。)

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	△16.9	2,000	△61.9	2,000	△2.8	1,000	46.5	21.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	47,213,536株	2020年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,684,250株	2020年3月期	1,710,778株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	45,516,012株	2020年3月期1Q	45,865,678株

（注）当社は、従業員持株E S O P信託および役員報酬B I P信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
3. 補足情報 .....	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上収益	23,229	17,399	△5,830	△25.1
自動車部品事業	10,016	5,984	△4,031	△40.3
産業資材事業	8,653	7,659	△994	△11.5
高機能エラストマー製品事業	3,481	2,800	△680	△19.6
その他	1,289	1,198	△91	△7.1
調整額	△212	△244	△31	—
コア営業利益(セグメント利益)(△は損失)	1,267	84	△1,183	△93.3
自動車部品事業	539	△434	△973	—
産業資材事業	530	548	17	3.2
高機能エラストマー製品事業	77	△186	△264	—
その他	132	35	△96	△72.9
調整額	△12	121	133	—
営業利益	876	86	△790	△90.2
親会社の所有者に帰属する四半期利益	682	9	△673	△98.7

(注) コア営業利益(△は損失)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、景気は大幅に悪化いたしました。中国では、経済活動が回復傾向にあり、足元では前年並みの水準に持ち直しましたが、その他の地域では、景気は大きく下振れし、一部に持ち直しの動きは見られるものの、経済活動が以前の水準を下回る状況が持続いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、中国では、政府の購入補助金などの政策が需要を押し上げ、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。一方、その他の地域では、新型コロナウイルス感染拡大による需要減などが響き、生産台数は軒並み前年度を大幅に下回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)の第2ステージの3年目として、新事業の創出、コア事業の拡大、ものづくりの深化と進化、個人と組織の働き方改革の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指して活動を推進いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症拡大による景気悪化などの影響により売上収益は17,399百万円(前年同期比25.1%減)、コア営業利益は84百万円(前年同期比93.3%減)、営業利益は86百万円(前年同期比90.2%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は9百万円(前年同期比98.7%減)となりました。

事業(セグメント)別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、積極的な営業活動により補修市場向け新商材や多用途四輪車用変速ベルトの販売が増加したものの、自動車生産台数の減少により補機駆動用伝動ベルト(リブエース®など)および伝動システム製品(オートテンションなど)の販売が減少いたしました。

海外においては、中国において自動車生産台数が好調に推移したことにより、自動車メーカー向け補機駆動用伝動ベルトなどの販売が伸びました。一方、米国およびアジア地域においては四輪・二輪車メーカーの減産や操業停止により販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は5,984百万円(前年同期比40.3%減)、セグメント損失は434百万円(前年同期はセグメント利益539百万円)となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、機械受注の減少により、産業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。海外においては、タイにおいて農業機械用伝動ベルトの販売が増加しましたが、米国において産業機械用伝動ベルトの販売が減少し、中国においては農業機械用伝動ベルトの販売が減少いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内においてコンベヤベルトや樹脂コンベヤベルト(サンライン®ベルト)などの販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は7,659百万円(前年同期比11.5%減)、セグメント利益は販売構成の変化などにより548百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、装飾表示用、工業資材用および建築資材製品の販売が減少いたしました。

精密機能部品につきましては、主要顧客向け精密ベルト、高機能ローラおよびブレードの販売が減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上収益は2,800百万円(前年同期比19.6%減)、セグメント損失は186百万円(前年同期はセグメント利益77百万円)となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業、電子資材事業および医療機器事業などを行っております。売上収益は自動車・産業機械分野での減産などによるロボット関連デバイス事業の販売減少もあり1,198百万円(前年同期比7.1%減)、セグメント利益は35百万円(前年同期比72.9%減)となりました。

上記の各セグメント別売上収益およびセグメント利益または損失は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が542百万円減少し、非流動資産が533百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し、110,288百万円となりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化に備え、金融機関からの借入による資金調達を実施し、手元流動性を高めた結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,691百万円増加し、16,184百万円となりました。

負債は、流動負債が1,994百万円減少し、非流動負債が1,764百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ230百万円減少し、46,157百万円となりました。

資本は、利益剰余金が720百万円減少し、その他の資本の構成要素が922百万円増加した結果、前連結会計年度末に比べ221百万円増加し、64,131百万円となりました。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の57.7%から57.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は16,184百万円(前年同期は17,899百万円)となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、営業活動による資金収支は1,813百万円の収入超過(前年同期は1,991百万円の収入超過)となりました。これは主に、営業債権及びその他の債権の減少額2,381百万円、営業債務及びその他の債務の減少額2,206百万円および減価償却費及び償却費1,498百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、投資活動による資金収支は854百万円の支出超過(前年同期は10,850百万円の支出超過)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入263百万円と有形固定資産の取得による支出952百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において、財務活動による資金収支は605百万円の収入超過(前年同期は9,430百万円の収入超過)となりました。これは主に、借入れによる収入4,000百万円と短期借入金(3ヶ月以内)の純減額1,924百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が国内外経済に大きく影響を与えており、合理的に算定・予想することが困難であると判断したことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づいて算定し、公表することといたしました。

業績予想は、売上収益75,000百万円(前連結会計年度90,247百万円。増減比16.9%減)、コア営業利益2,000百万円(前連結会計年度5,252百万円。増減比61.9%減)、営業利益2,000百万円(前連結会計年度2,056百万円。増減比2.8%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益1,000百万円(前連結会計年度682百万円。増減比46.5%増)を見込んでおります。

なお、本予想は、2021年3月期第3四半期以降は新型コロナウイルス感染症の拡大が収束し、世界経済の活動が回復するとの仮定に基づいて作成しており、これらの仮定に変化が生じた場合には、今回の予想が修正される可能性があります。

2021年3月期の業績予想に基づき、1株当たりの中間配当予想につきましては6円とさせていただきます。期末配当予想につきましては新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が不透明なため、引き続き未定とさせていただき、算出が可能となった時点で公表する予定です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	14,493	16,184
営業債権及びその他の債権	20,103	17,748
棚卸資産	12,851	12,821
未収法人所得税	17	492
その他の金融資産	634	364
その他の流動資産	722	668
流動資産合計	48,822	48,280
非流動資産		
有形固定資産	33,913	33,786
のれん	8,594	8,595
無形資産	4,798	4,660
持分法で会計処理されている投資	6,039	6,305
その他の金融資産	7,010	7,555
繰延税金資産	524	538
その他の非流動資産	594	566
非流動資産合計	61,474	62,008
資産合計	110,297	110,288

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債および資本		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	13,483	10,786
社債及び借入金	6,774	6,794
未払法人所得税	348	353
その他の金融負債	998	1,045
引当金	26	16
その他の流動負債	4,198	4,837
流動負債合計	25,829	23,834
非流動負債		
社債及び借入金	14,700	16,300
退職給付に係る負債	777	790
その他の金融負債	1,611	1,805
繰延税金負債	932	986
その他の非流動負債	2,537	2,439
非流動負債合計	20,558	22,323
負債合計	46,387	46,157
資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	3,075	3,075
利益剰余金	52,301	51,580
自己株式	△1,692	△1,664
その他の資本の構成要素	△988	△66
親会社の所有者に帰属する持分合計	63,648	63,877
非支配持分	261	253
資本合計	63,909	64,131
負債および資本合計	110,297	110,288



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	23,229	17,399
売上原価	16,392	12,429
売上総利益	6,836	4,969
販売費及び一般管理費	5,569	4,884
その他の収益	40	42
その他の費用	553	39
持分法による投資利益(△は損失)	122	△1
営業利益	876	86
金融収益	155	158
金融費用	294	208
税引前四半期利益	737	36
法人所得税費用	50	23
四半期利益	687	13
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	682	9
非支配持分	4	4
四半期利益	687	13
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	14.89	0.20

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	687	13
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	△188	347
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	0	△7
純損益に振り替えられることのない項目合計	△187	339
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△689	239
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対 する持分	△163	340
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△852	580
その他の包括利益合計	△1,040	919
四半期包括利益	△352	932
四半期包括利益の帰属:		
親会社の所有者	△350	931
非支配持分	△2	1
四半期包括利益	△352	932

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2019年4月1日 残高	10,951	3,092	53,147	△1,346	2,026	67,871	261	68,132
四半期利益			682			682	4	687
その他の包括利益					△1,033	△1,033	△6	△1,040
四半期包括利益合計	—	—	682	—	△1,033	△350	△2	△352
剰余金の配当			△734			△734	△15	△750
自己株式の取得				△0		△0		△0
自己株式の処分		0		15		15		15
株式に基づく報酬取引		4		3		8		8
所有者との取引額等合計	—	4	△734	18	—	△711	△15	△727
2019年6月30日 残高	10,951	3,096	53,095	△1,327	992	66,809	243	67,052

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2020年4月1日 残高	10,951	3,075	52,301	△1,692	△988	63,648	261	63,909
四半期利益			9			9	4	13
その他の包括利益					922	922	△2	919
四半期包括利益合計	—	—	9	—	922	931	1	932
剰余金の配当			△729			△729	△9	△738
自己株式の取得				△0		△0		△0
自己株式の処分		△10		27		17		17
株式に基づく報酬取引		9				9		9
所有者との取引額等合計	—	△0	△729	27	—	△701	△9	△711
2020年6月30日 残高	10,951	3,075	51,580	△1,664	△66	63,877	253	64,131

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	737	36
減価償却費及び償却費	1,468	1,498
受取利息及び受取配当金	△141	△138
支払利息	38	42
持分法による投資損益(△は益)	△122	1
固定資産除売却損益(△は益)	35	8
棚卸資産の増減額(△は増加)	249	51
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△332	2,381
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△454	△2,206
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△889	5
退職給付信託返還に伴う資本性金融商品の増加額	△1,355	—
引当金の増減額(△は減少)	42	△9
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	2,469	△97
その他	1,030	686
小計	2,776	2,260
利息及び配当金の受取額	213	189
利息の支払額	△32	△32
法人所得税の支払額	△965	△608
法人所得税の還付額	—	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,991	1,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2	—
定期預金の払戻による収入	32	263
有形固定資産の取得による支出	△1,491	△952
有形固定資産の売却による収入	9	7
無形資産の取得による支出	△136	△143
資本性金融商品の取得による支出	△4	△5
子会社株式の取得による支出	△9,291	—
その他	34	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,850	△854

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金(3ヶ月以内)の純増減額(△は減少)	15,794	△1,924
短期借入れ(3ヶ月超)による収入	—	2,000
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△5,325	△445
リース負債の返済による支出	△303	△302
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	15	17
親会社の所有者への配当金の支払額	△734	△729
非支配持分への配当金の支払額	△15	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,430	605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△201	126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	369	1,691
現金及び現金同等物の期首残高	17,530	14,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,899	16,184

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービスを軸とした事業部制を採用しており、各事業部は取り扱う製品・サービスについて国内および海外における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループの事業は親会社の事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車部品事業」、「産業資材事業」および「高機能エラストマー製品事業」の3つを報告セグメントとしております。

なお、各報告セグメントは、次の製造・販売を行っております。

セグメントの名称	主要な製品
自動車部品事業	自動車用伝動ベルト製品（補機駆動用伝動ベルトおよび補機駆動用伝動システム製品）、二輪車用伝動ベルト製品（スクーター用変速ベルト）など
産業資材事業	一般産業用伝動ベルト製品（産業機械用Vベルト、歯付ベルト、プーリなど）、その他伝動用製品、運搬ベルト（コンベヤベルト、樹脂コンベヤベルト、同期搬送用ベルト）、運搬システム製品、もみすりロールなど
高機能エラストマー製品事業	クリーニングブレード、高機能ローラ、精密ベルト、ポリウレタン機能部品、精密研磨材、建築資材用フィルム、医療用フィルム、装飾表示用フィルム、工業用フィルムなど

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益または損失の金額に関する情報

報告されている各事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した方法と概ね同一であります。セグメント間の売上収益または振替高は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益および利益または損失は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	10,010	8,641	3,479	22,131	1,097	—	23,229
セグメント間の売上収益 または振替高	5	12	1	20	192	△212	—
計	10,016	8,653	3,481	22,152	1,289	△212	23,229
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	539	530	77	1,147	132	△12	1,267
その他の収益	—	—	—	—	—	—	40
その他の費用	—	—	—	—	—	—	553
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	122
営業利益	—	—	—	—	—	—	876
金融収益	—	—	—	—	—	—	155
金融費用	—	—	—	—	—	—	294
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	737

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去5百万円、全社費用△18百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。

3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益(△は損失)はコア営業利益で表示しております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	自動車部 品事業	産業資材 事業	高機能エ ラストマ ー製品事 業	計			
売上収益							
外部顧客への売上収益	5,984	7,628	2,798	16,410	988	—	17,399
セグメント間の売上収益 または振替高	0	31	2	34	209	△244	—
計	5,984	7,659	2,800	16,445	1,198	△244	17,399
セグメント利益 (コア営業利益) (△は損 失)	△434	548	△186	△73	35	121	84
その他の収益	—	—	—	—	—	—	42
その他の費用	—	—	—	—	—	—	39
持分法による投資利益 (△は 損失)	—	—	—	—	—	—	△1
営業利益	—	—	—	—	—	—	86
金融収益	—	—	—	—	—	—	158
金融費用	—	—	—	—	—	—	208
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	36

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として医療機器事業およびロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額121百万円には、セグメント間取引消去5百万円、全社費用115百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額であります。
3. 当社グループは、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除したコア営業利益を、経営管理上の指標としており、セグメント利益(△は損失)はコア営業利益で表示しております。



3. 補足情報

[海外売上収益]

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上収益(百万円)	3,621	1,979	1,832	7,433
II 連結売上収益(百万円)				17,399
III 連結売上収益に占める海外売上収益の割合(%)	20.8	11.4	10.5	42.7

(注) 1. 海外売上収益は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上収益であります。

2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

(1) 国または地域の区分の方法は、地理的接近度によっております。

(2) 各区分に属する主な国または地域

アジア……………タイ、韓国、インド、ベトナム、インドネシアほか

中国……………中国、香港

欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか